

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第4回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和8年3月11日(木) 午前10時00分開会 午前11時45分閉会
開 催 場 所	入間市教育センター会議室
議 長 氏 名	西村めぐみ
出席委員(者)氏名	野口正孝 伊藤浩二 小玉佳也 佐藤清美 濱中幸子 双木茂芳 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 吉野勝 吉田澄枝 宮瀧和子
欠席委員(者)氏名	梅裕晶 田辺暁己 白木賢信
説明者の職氏名	大石社会教育課長 大久保博物館長 平岡図書館長 奥村社会教育課主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 議長あいさつ 3 協議事項 (1) 社会教育関係4計画の策定について 4 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当各課からの報告 5 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	新屋教育部次長、大石社会教育課長、 大久保博物館長、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、牧野社会教育課主幹、岩崎社会教育課主事 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 協議事項

- (1) 社会教育関係4計画の策定について
- 事務局 大石課長
奥村主幹
大久保博物館館長
平岡図書館館長より説明

2 報告事項

- (1) 各委員からの活動報告
(2) 教育部社会教育担当課からの報告

①社会教育課 大石社会教育課長

(i) 報告事項

- ・第30回いるま生涯学習フェスティバルについて
- ・令和8年入間市二十歳の集いについて

(ii) 配付資料

- ・文芸入間第48号
- ・人権教育(入間地区人権教育推進協議会)
- ・社教情報

②博物館 大久保博物館長

(i) 報告事項

- ・令和8年度 旧石川組製糸西洋館の一般公開について
- ・「アリットげんき市」の開催について
- ・「げんき広場」の開催について
- ・令和8年度ALITお茶大学研究生・受講生の募集について

(ii) 配付資料

- ・「令和8年度 旧石川組製糸西洋館一般公開」チラシ
- ・「げんき広場・アリットげんき市」チラシ
- ・「令和8年度ALITお茶大学研究生募集」チラシ

③図書館 平岡図書館長

(i) 配付資料

- ・図書館だより 令和8年1月号

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
西村議長	協議事項(1) 社会教育関係4計画の策定について、事務局より説明を願う。
大石課長	(資料1「社会教育関係4計画の策定に向けた取り組みについて」に沿って説明)
西村議長	本日の意見発表の他に意見書も提出するのか。
大石課長	記録として残したいので提出を願う。
西村議長	意見書には本日の意見を書いてもかまわないか。
大石課長	大丈夫である。
西村議長	他に意見等あるか。なければ続いて説明を願う。
奥村主幹	(資料2「第6次入間市生涯学習推進計画」に沿って説明)
西村議長	第4章の取組項目等を含めて意見を求めるものか。
大石課長	個々の項目等については各協議体での検討を行うので、本日の協議では、第3章の基本理念のような基本的な考え方や第4章の基本方針の項目建てや過不足等について意見を願う。
西村議長	「入間市生涯学習をすすめる市民の会」とは何か。
大石課長	入間市における生涯学習を推進するためにどのようなことをすべきか、市と一緒に考えて活動している市民団体である。市民講師登録制度を創設したり、生涯学習フェスティバルを開催したりしている。
西村議長	施策の体系を、まなぶ、つなぐ、生かすの循環とするならば、イメージに合わせて図を工夫すべきではないか。
大石課長	輪を描くような概念図等について検討したい。
小玉委員	5ページの「人生の段階(就職、子育て、余生)様々な」は国語的につながりがよくない。また、子育ては子を持ちたくてもできない方もあり、余生と言う言葉はポジティブに捉えず誤解を受ける可能性があるのでは変えた方がよくないか。
大石課長	意見に感謝する。
西村議長	他に意見等あるか。なければ続けて説明願う。
大石課長	(資料3「第3次入間市公民館基本計画」に沿って説明)
西村議長	公民館は、学習、文化等目に見えない活動が多く、時代に併せて変遷してきた。計画の中にどのような公民館の未来を描くのかを考えていくということか。
大石課長	生涯学習は幅が広く具体的な取り組みが見えづらい部分がある。いろいろな方に学んでいただき、つないでいく上でどのような取り組みをしたらよいか、幅広い視点で意見を願う。
濱中委員	この計画はすべての公民館で一律に行うということか。
大石課長	入間市の公民館全体の計画となる。この計画の後に、各公民館で事業計画を組むにあたっては地域の実情や団体等に合わせて工夫していく。
齋藤委員	10ページの「(仮称)新規地域づくり団体支援制度」は、もう作られているのではないか。
奥村主幹	そのとおりである。地域づくりの団体を支援する制度は既にあり、引き続き行う。実績としては、西武地区でのこども食堂の立ち上げ支援がある。
齋藤委員	ならば、仮称はおかしくないか。
大石課長	制度はあるが利用されてなかったりするので、やり方を改めるにあたり名称変更

発言者	発言内容
	を検討している。
齋藤委員	新しい制度はもうできているのか。
大石課長	今後、公民館運営審議会等で検討して、社会教育委員会議で適宜報告させていた
	き、意見をお聞きする機会を設けさせていただこうと考えている。
村野委員	そのことに関連して、この制度を使って西武地区でのこども食堂立ち上げに関わ
	ったが、公民館から提案されて初めて知った。ぜひよりよいものにしていただきたい。
	また、立ち上げた後の伴走もあるとよい。公民館の職員に委ねられる部分があり、
	その職員がいなくなると活動もなくなるなど、職員の中でも一生懸命な方とそ
	うでない方がある。立ち上げ後のことは人による、ということがない事を願う。
大石課長	この計画でどの公民館も取り組むということが決まれば、少しは可能になるでは
	ないか。
西村議長	他に意見等あるか。なければ続けて説明願う。
大久保館長	(資料4「第3期入間市博物館基本計画」に沿って説明)
宮寫委員	計画の推進に向けてのところで、他は市民への働きかけとあって博物館だけ市民
	との連携とあるが、これは独自性を出すためにあえてこうしたのか。
大久保館長	ご指摘のように、博物館にとっては実際に事業を一緒にやっていくというところ
	があり、連携がふさわしいと考えた。
村野委員	7ページの第4章で、子どもについての取組がないが、今実際にたくさん子ども
	のことをしている。入れないのは何か理由があるのか。
大久保館長	この項目には入っていないが、施策の細かい取組では子どもに学びを提供するな
	どがある。アピールの仕方について考えたい。
西村議長	昔のくらし展など、子どもはすごく喜んでいた。有意義であり、もっと広げられ
	るとよいが、いっぱいいっぱいということか。
大久保館長	基本方針2の中の博学連携の充実で、博物館と学校が連携して事業を行ってお
	り、目立たないがしっかり取り組んでいる。
西村議長	ここに含まれるということか。
大久保館長	そうである。
齋藤委員	お茶と地域の2本の柱ということだが、入間市の特産品であるお茶を入れること
	はすごくよい。今までもやっていたとは思いますが、ここにお茶を入れたというのは何
	か特別な思いとかあるのか。入間市に住んでいるとわかるが、全体的に見ると狭山
	市が狭山茶の産地となっている。その辺も含め、狭山茶は入間だよという思いでこ
	の柱をたてたのか聞きたい。
大久保館長	前回までは、地域とお茶をテーマとして地域が前に出ている。地域は大切だが狭
	山茶やその文化をしっかりと伝えた方がいいという意見が協議会でもあり、今回はお
	茶を前に出す形で計画にした。狭山市、入間市については、学芸員も口を酸っぱく
	して事あるごとに言っている。
齋藤委員	なぜかという、今度、紅茶のサミットがあり、開催地が狭山市だと聞いた。何
	でと思ったが、現実には狭山茶は狭山と思われがちで、頑張ってもらいたいという要望
	である。
西村議長	猿のパフォーマンスは指定管理者の方になるのか。

発言者	発言内容
大久保館長	猿回しなど、親子向けのイベントを指定管理が行っている。
佐藤委員	茶道連盟の立場として、昨年度くらいからコロナ過から回復し活発になってきた。博物館と連携してお茶会をした際に、初めて青丘庵に来られた方のほとんどが、こんないいところがあったんだねと、それも入間市在住の方が言っていた。こんなに知られてないんだと感じた。いい感じで動き始めているので、青丘庵を含めてもっとお茶をアピールしてよいというのと、天皇陛下が狭山茶だが産地は入間市なんですとおっしゃった。流れが来ていると思うので、ここで大きくしていきたい。この資料は市民も見ること前提として作っているのか。
大石課長	市民の方にたくさん見ていただき、それぞれの計画、施設の運営、こういうふうに使えらるということを知っていただきたいというところは強くある。
佐藤委員	それなら、博物館も公民館も、もっと写真やイラストを入れて、例えば、楽しくお茶を飲んでいるところとか、まちの先生が活動しているところを入れたりして、市民には高いハードルを絵や写真で低くした方がよい。
大石課長	イラストや写真を入れるなどして、もっと楽しく見ていただけるように工夫したい。
西村議長	博物館で段ボールのアケボノゾウの模型がある。ああいう企業との連携があるとよい。子どもたちは喜んで作っていた。
大久保館長	昨年8月に入間市の工業会と連携してものづくりのワークショップを開催した。カネパッケージとの連携についても、特別展の時に旧黒須銀行の建物の段ボール模型を作ってもらったりしていて、それがアケボノゾウの模型につながった。
西村議長	忙しい人も、子どものためとなれば、足を運ぶのではないか。他に意見はあるか。なければ次の説明を願う。
平岡館長	(資料5「第4次入間市立図書館基本計画」に沿って説明)
西村議長	今までも、こども用のコーナーと大人を分けていて、子どもが暴れても大丈夫なようにしていたと思うが。
平岡館長	今までも子どものことは計画でうたっていたが、より施策として強くしたいところから、方針の一つとなった。
双木委員	AIに対する対処の仕方についての基本的な考えはあるか。
平岡館長	今後の方向性でデジタルについて、4ページのこれまでの経緯でAIに触れており、これらを考慮して運営していくことを計画したい。
双木委員	新聞を読ませる授業も出てきたと聞いた。活字を見ることも大事ではないか。
平岡館長	図書館としては、活字は大切と考えているが、プラスアルファ、今電子図書などもあるので、うまく組み合わせて図書館の可能性について考えたい。
小玉委員	4ページ4行目、IoTが正しいのか、ICTが正しいのか、人と図書館と考えるとICTだと思うが、検討を。
平岡館長	意見に感謝する。
齋藤委員	14ページ、「安心して利用できる環境の整備」にある、これまでと異なる運営とは具体的にどのようなことか。
平岡館長	新型コロナウイルスの際には、図書館も臨時休館をした。そこで来館しなくても読めるサービスや図書を宅配するサービスなどを始めた。今後もこのような災害が

発言者	発言内容
齋藤委員 平岡館長	<p>起こったときに、どのような対応ができるかということを考えている。</p> <p>自然災害の中に新型コロナウイルスがあったということか。</p> <p>この部分は再度検討したい。自然災害などで来館しなくても図書が読めるというところでこの文章を作ったところである。</p>
宮嶌委員 平岡館長	<p>10ページの施策の体系で、「知りたいに答える」が図書館としては「学ぶ」ということ、「学びを支える」が「つなぐ」、それとも「学ぶ」ということか。</p> <p>学びを支えるということについては、図書館ではレファレンスサービスや様々なテーマ本の展示などを考えてこのように決定したものである。</p>
宮嶌委員 平岡館長	<p>「子どもの健やかな成長」は「つなぐ」で、「すべての人に届ける」は「生かす」になり、最後が「生かす」となって、図書館としては「学ぶ」「つなぐ」「つなぐ」「生かす」「生かす」ということで考えたのか。</p> <p>図書館としては、資料をそろえる、その資料を使って学びを支える。そして子どもやすべての人が図書館を利用しやすいように、そして心地よい図書館という流れで考えたものである。</p>
宮嶌委員 平岡館長	<p>要するに、学ぶとつなぐと生かすを5つに分けて記載したということか。</p> <p>そういう観点はなかったが、図書館としては資料をそろえて、それを使って学びを提供する、そして誰もが過ごしやすい、という感じで考えた。</p>
宮嶌委員 平岡館長	<p>勝手に考えたんだが、基本方針に「知りたいに答える」なら、小文字でも、括弧でも、「学ぶ」なんだと、「学びを支える」なら「つなぐ」なんだと入れていくと、「学ぶ」だとかこういう方法があるなど、図書館の専門の人でなくても、内容がわかりやすいのではないか。</p>
平岡館長 新屋次長	<p>検討させていただきたい。</p> <p>補足すると、学ぶ、つなぐ、生かすは推進計画の大きな3つのテーマで、図書館では、基本的理念が3つあり、くらしに役立つ、学びを支える、身近な図書館と視点が3つ設定されており、それを施策体系に流し込んでいる形であり、ご意見を伺いながら検討したい。</p>
西村議長 吉野委員	<p>よろしいか。では、続いて、次第4の報告事項に移る。各委員からの活動報告について、報告する方は挙手を願う。</p> <p>児童センターでは、15日にプロの声優で、黒須中出身の伊吹咲希さんを招いて星空読み聞かせ会を行う。</p>
濱中委員 宮嶌委員	<p>スポーツ協会だが、59回目の駅伝大会を博物館周辺で12月21日に開催した。2月28日に入間市のスポーツ賞授賞式があり、功労賞ゴールド、シルバーがあり、優秀選手賞が小学生6名、中学生6名、高校生6名、大学生1名が表彰された。3月15日にクロスカントリー大会がある。去年は雨だったが、今年は晴れそうであり、ぜひ声援を願う。</p> <p>文芸入間48号が完成した。皆さんにお配りしたが、博物館が31年目ということで寄稿いただいた。1ページ目に狭山茶のことも載っている。今までは無料だったが、今年から有料で500円となっている。ちょっと心配だが、他の市町村も全部お金を取っている。市民の方の作品をできるだけ載せるようにしている。</p>
大石課長	<p>今年度は550部作成し、投稿された方には1冊差し上げていて、公民館、図書</p>

発言者	発言内容
村野委員	<p>館、病院に配布している。それ以外の方で、投稿もしていないが1冊欲しいという方には500円を負担いただく。300冊くらいをお配りし、残り220冊くらいを有償頒布とさせていただいている。</p> <p>入間地区社会教育委員会に西村議長と参加しているが、来年度の予定があったのでお伝えする。10月15日に三芳町総合体育館で社会教育委員の研修会があり講演がある。生涯学習フォーラムが2月3日コピスみよしで開催される。</p>
西村議長 大石課長	<p>次に、社会教育担当各課からの報告を願う。</p> <p>社会教育課からの報告の前に、お手元に全国社会教育委員連合の方で発行している社教情報を配布させていただいた。第30回いるま生涯学習フェスティバルを令和7年12月14日にイルミンで開催した。令和8年入間市二十歳の集いを令和8年1月12日に産業文化センターで開催した。参加率が昨年から少し減少したが、参加者には喜んでいただき、フォトブースでは盛り上がっていた。また、入間地区人権教育推進協議会が作成した人権教育及び文芸入間48号を配布した。</p>
大久保館長	<p>令和8年度 旧石川組製糸西洋館の一般公開についてチラシをお配りした。親子連れの方にも来ていただきたいという指定管理者の事業で3月28日29日「アットげんき市」を行う。最後に、毎年行っているALITお茶大学の研究生の募集で、一般受講生の募集は3月25日からとなっている。</p>
平岡館長 西村議長	<p>図書館だより、令和8年1月号をお読みいただきたい。</p> <p>何か質問はあるか。なければ、これをもって報告事項を終了する。</p> <p>以上で、議長の任を解かせていただく。ご協力に感謝する。</p> <p style="text-align: right;">以下、余白</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 8 年 3 月 28 日

議長の署名

西村 めぐみ

